

2019 FIM SUPERBIKE WORLD CHAMPIONSHIP
Round 12 Motul Argentinean Round World Supersport Race Report

タイヤトラブルに苦しんだ大久保
アルゼンチンラウンドを12位で終える

スーパーバイク世界選手権 (WorldSBK) Round 12 Motul Argentinean Roundの決勝がアルゼンチン Circuito San Juan Villicumで本日開幕。天候には恵まれているが、このサーキット独特のスリッピーなトラックコンディションに戸惑い、苦しい展開の大久保。前日のWorldSBKクラスRACE1ではレースをキャンセルしたライダーが居る程、難しいトラックでの戦いとなる。少しでも決勝の順位を上げるべく、マシンと対話し改善策を最後まで探る。午前のWarm Upは昨日より気温が低く18度・路面温度27度の中、Weekの自身ベストタイム1分44秒537の11番手タイムを計測し、最後の調整を終えた。

午後も天候に恵まれ晴れ。気温20度の中、午後2時15分にWorldSSPクラスの決勝がスタート。大久保はオープニングラップに順位を上げ、8番手でコントロールラインを通過。レース序盤よりコースレコードが更新されるハイペースなレースが展開され、大久保も全力で攻めるが、マシンにバイブレーションが発生するトラブルが発生。ストレートもマシンが振られ、苦しい展開に。ライディングをアジャストし、タイヤをスライドさせる事で対応したが、中々順位を上げる事が出来ない。1分44秒台のweek一番のアベレージで全力の走行を続け、12位フィニッシュ。結果、4ポイントを獲得し合計97ポイントとなりChampionship Standings 5位をキープで今大会を終えた。

■大久保 光コメント ・決勝結果 12位 / ベストタイム 1分43秒722

「レースはスタートを上手く決める事が出来、ポジションを序盤より上げる事が出来ました。しかし、マシンにバイブレーションが発生するトラブルが出てしまい、ストレートでもマシンが振れ、攻める事が難しい状況になってしまいました。ライディングスタイルを変え、スライドさせる事で改善させたのですが、順位をリカバリー出来ませんでした。原因はタイヤがリムから回ってしまい、結果として振動が発生していた様です。これが無ければ上位に食い込める可能性があったので残念です。しかし、収穫はあったレースだったと思います。

次戦は最終戦となります。皆様引き続き応援宜しくお願い致します。」



Kawasaki Puccetti Racing

Website / <http://www.puccettiracing.it/wordpress/>

Kawasaki Puccetti Racing PuccettiRacing puccettiracing

Hikari Okubo Official Account

Website / <http://www.hikariokubo78.com/>

hikariokubo78 hikari_No78 hikariokubo78